

親の為に、ふるさと納税・寄付制度を活用して見守り・未病(認知症)の取組が出来ることをご存じですか？
利用料が無償又は一部負担(1日41円)でサービスが受けられ、コロナ禍で離れていても様子が分かり安心。



見守り プラス認知の

アイシル

アイシルには各種センサが搭載されており、高齢者の24時間365日の見守りを行うとともにクラウドシステムにデータを蓄積します。朝起きたとき、お薬を服用時、食事を摂った時といったタイミングでアイシルのボタンを押し、日常の決まりごととして押しいただけます。これらのセンサ情報と、ボタン押下情報はクラウドシステムに蓄積され、解析を行うことで認知機能低下の早期の気づきにつなげます。クラウドシステムのデータは本人はもちろんの事、家族や協力者様がパソコンやスマートフォンを用いていつでもどこからでもアクセスすることができます。



※アイシルはボタン操作による認知症初期段階見極めシステムとして特許を取得しています。(特許第5912952号)

これまで見守り事業は行政が行うものと決めつけていましたが、**自助・公助・互助を有効につなぐことにより行政も家族も負担なく高齢者支援ができます。**(健常者の方も要介護の方も)



ご家族の皆様へ

ご家族で親のケア(自助)

- 親に住み慣れた町で楽しく暮らしてもらう。
- ふるさと納税と寄付制度を活用して見守りサービスを無償か一部負担(1日41円)で利用する。

社協の皆様へ

寄付制度での支援(互助)

- 市内在住のご家族の為に。
- ふるさと納税制度と同様な効果を創出。
- 未病の取組みの必要性を高齢者に啓蒙し理解して頂く。

行政の皆様へ

ふるさと納税登録(公助)

- 市外在住のご家族向けの為に。
 - 納税を受け見守り、未病の取組みで活性化。
 - 地元高齢者への役務であり他市と競合しない。
- ※全国の自治体が共存共栄でアピールし各地元出身者の家族に周知する事ができ、出身地に住む親の為に本来のふるさと納税

ご存じでしたか？

ふるさと納税ではこのような情報提供(役務サービス)を返礼品として登録可能なんです。当社は昨年末よりふるさと納税へ参加し現在各自治体に登録申請を進めています。

ふるさと納税 寄付金額と利用券対応表例

寄付金額(控除範囲内)	利用券(役務)	追加の自己負担
30,000円	9,000円	15,000円
40,000円	12,000円	12,000円
50,000円	15,000円	9,000円
80,000円	24,000円	—

所得により控除範囲は異なります

※本サービスの年間利用料(24,000円)に利用券を充当します。一差は追加の自己負担となります。
※例えば、控除範囲内にて8万円を寄付した場合、追加の自己負担なしでご利用可能です。



兄弟で控除範囲内にて5万円と3万円の寄付をした場合、合算8万円とし追加の自己負担なしでご利用可能です。

※例えば、兄弟で控除範囲内にて5万円と3万円の寄付をした場合、合算8万円とし追加の自己負担なしでご利用可能です。
※ご利用にはインターネット環境が必要で費用は利用者様負担となります。インターネット環境のない方は当社までご相談ください。

2021年1月時点での登録状況(5自治体)

福知山市・綾部市・京丹後市
亀岡市・丹波市

引き続き各自治体に登録申請を進めて参りますのでよろしくお願い致します。

ふるさと納税以外でも寄付制度を活用し当サービスを使って頂きやすくなるよう取組んでいます

舞鶴市社会福祉協議会とは市民の皆様のために連携を協議中

ふるさと納税制度では、同一市内に在住している家族は利用できない為、寄付制度を設けることにより、ふるさと納税の返礼品と同様のサービスを受けられるようにします。

当社のサービス概要

京都府チャレンジ・バイ認定商品

- 24時間365日の見守り
- 自らの生活リズムとボタン操作状況を記録として残しておけば認知機能の衰えの変化度が分かります。
- 早めの気づきで要介護前段階で食い止められる。
- 離れていても毎日グラフで様子が分かり安心

コロナ禍でも安心 在宅介護支援にも使えます

今何してる? いつでもどこでも簡単確認



メールやLINEで通知

